

市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	民泊運営管理システム導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	年々増加している民泊受入件数の円滑な処理と管理体制を強化するため、予約・実施・収支管理を行うコンピューターシステムの導入を行った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,000				
		(b) 予算現額	6,615				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 385				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		6,615				
	B. 執行済額		6,615				
	うち交付金充当額		5,292				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予定を下回る金額で契約したことで、385千円を減額したが、予定した事業内容は全て執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	民泊運営管理システム導入	目標	(1)	()	()	()	
		実績	1				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	民泊運営管理システム導入を行い、民泊受入の円滑な処理と管理体制が図られ、予約・実施・収支管理を行う事が強化された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	民泊運営管理システム導入	目標	()	(1)	()	()	()
		実績		1			
	【参考指標】	目標	()	(1)	()	()	()
		実績		1			
	進捗状況説明	民泊運営管理システムを導入したことにより、民泊受入の円滑な処理と管理体制が図られ、予約・実施・収支管理を行い、強化される事が見込まれる。なお、今年度の民泊実績数が具体的に出てくるのが、平成26年3月末になる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	取組み(民泊運営管理システム)を開始したばかりで、現時点での推進上の問題点は、無い状況です。	取組み(民泊運営管理システム)を開始したばかりで、現時点での改善余地については、問題点は、無い状況です。
今後の取り組み方針		
システム導入により、民泊受入の円滑な処理と管理体制が図られ、予約・実施・収支管理の強化に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	6,615	6,615	5,292	1,323	0
<pre> graph LR A[金武町 6,615千円] --> B[委託料 株式会社フラッシュエッジ 6,615千円] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	①指名競争入札方式により、妥当と考えている。 ②予算規模については、3者見積もりを取り、それに基づき予定価格を設定しており、適正規模と考えている。 ③指名競争入札方式のため、妥当と考えている。 ④委託費として、仕様書のに基づき、完了されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	新開地地区防犯灯LED電球設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	金武町キャンプ・ハンセン第1ゲート前付近の新開地地区内にLED防犯灯を機能強化整備し、観光客受け入れ体制を強化した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		27,169				
			27,169				
			0				
			—				
			27,169				
	B. 執行済額		22,260				
	うち交付金充当額		17,808				
	次年度繰越額		0				
執行率(%) (B/A)		81.9%					
予算の状況の説明		本工事を執行することによって予想される、修繕工事(配線工事、点滅器やプレーカー等の交換)については、町の一般財源約5,300千円を活用して工事を予定していたが、予定していた工事を執行しなかったことによる差額分である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新開地地区防犯灯LED電球設置数	目標	(230基)	()	()	()	
		実績	230基				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	金武町キャンプ・ハンセン第1ゲート前付近の新開地地区内の防犯灯の電球をLED電球に取り替えたことにより機能強化が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	新開地地区防犯灯LED化率	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	新開地地区内にある既存の防犯灯230基については、平成24年度事業において全てLEDに取替えて機能強化を図った。					

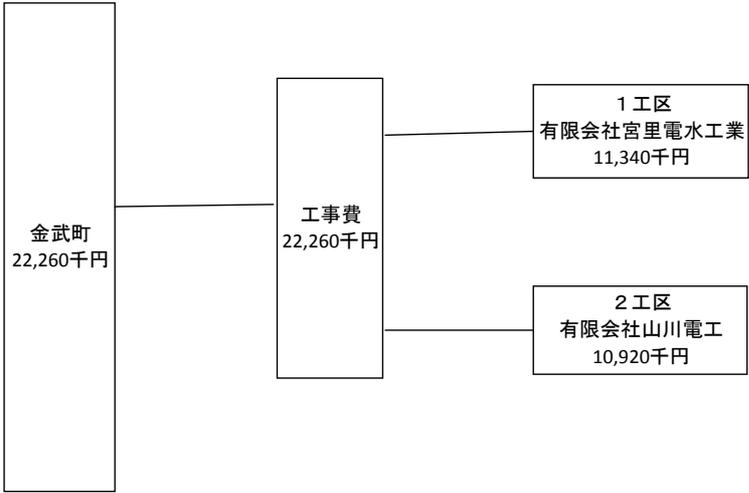
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町としては、新開地地区の危険、怖い、暗いというイメージを払拭するために観光客が安心して利用できるような環境整備を図った。しかしながら、不景気や米軍人による事件・事故に起因する規制等により同地区内の閉店している店舗が多々ある。	町と通り会と社交業組合と連携して、空き店舗対策事業に取り組んでいく。

今後の取り組み方針

金武町キャンプ・ハンセン第1ゲート前付近の新開地地区は、暗い、怖い、危険というイメージがあり、今回、新開地地区防犯灯にLED電球を設置し、機能強化を図ったことにより、防犯面等が向上し、夜間に訪れる観光客が期待できるようになった。今後も、緑化整備事業等を予定しており、通り会や社交業組合等との連携により、観光客が古き良きアメリカンスタイルの街並みを安心して楽しめる環境整備を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,260	22,260	17,808	4,452	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者については、金武町建設工事競争入札参加者資格審査委員会において、指名競争入札方式により実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-ウ	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・若者の育成支援	
事業内容	チームティーチング指導、電子黒板等による情報化教育、ALTを活用した英語教育、習熟度別よりきめ細かな学習支援を実施するための非常勤講師を配置することで、学力向上の推進を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,278				
		(b) 予算現額	31,013				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,265				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	31,013				
	B. 執行済額		19,552				
	うち交付金充当額		15,641				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		63.0%				
予算の状況の説明		事業着手に遅れが生じ、8月からの執行になったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援員等配置数 小学校:7人 中学校:8人	目標	(支援員等 小学校:7人) (中学校:8人)	()	()	()	
		実績	(支援員等 小学校:7人) (中学校:8人)				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	習熟度別にきめ細かな学習支援を行ったことにより、個々の学力の向上が図られた。						

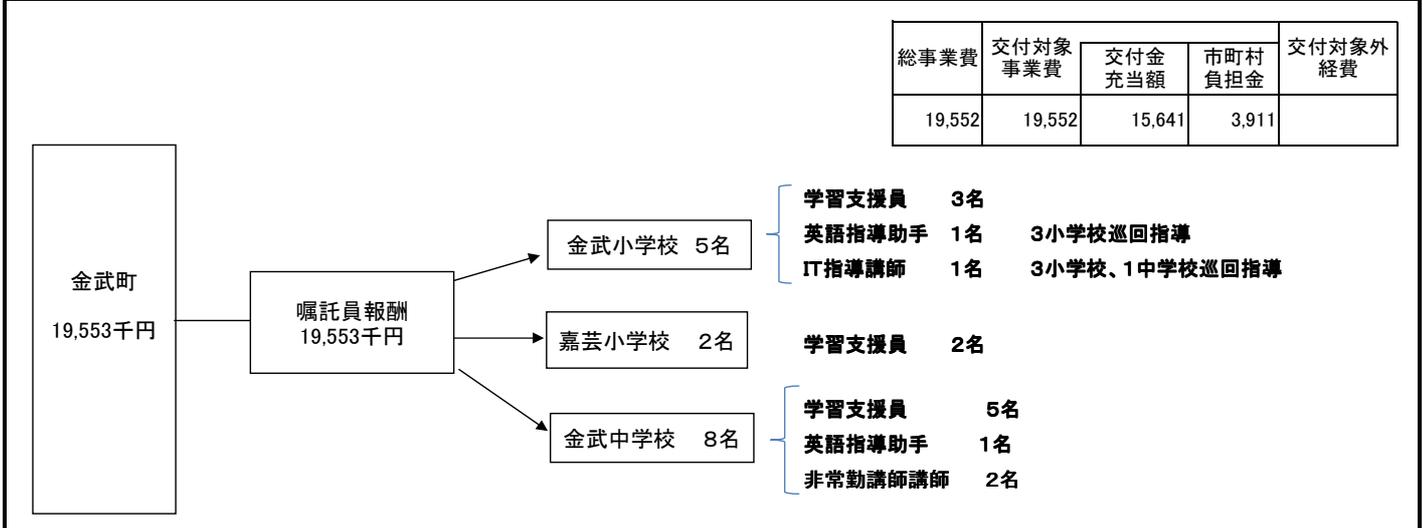
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	学習支援員配置数	目標	(小学校: 5人 中学校:)	(小学校: 7人 中学校: 8人)	()	()	()
	実績			(小学校: 7人 中学校: 8人)			
【参考指標】 町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率	目標	(小学校A問題(国語)72% 小学校A問題(算数)70% 小学校B問題(国語)67% 小学校B問題(算数)32% 中学校A問題(国語)30% 中学校A問題(数学)40% 中学校B問題(国語)45% 中学校B問題(数学)26%)	(小学校A問題(国語)73% 小学校A問題(算数)71% 小学校B問題(国語)68% 小学校B問題(算数)33% 中学校A問題(国語)31% 中学校A問題(数学)41% 中学校B問題(国語)46% 中学校B問題(数学)27%)	()	()	()	(小学校A問題(国語)75% 小学校A問題(算数)73% 小学校B問題(国語)70% 小学校B問題(算数)35% 中学校A問題(国語)35% 中学校A問題(数学)45% 中学校B問題(国語)50% 中学校B問題(数学)30%)
	実績		(小学校A問題(国語)67.6% 小学校A問題(算数)58.8% 小学校B問題(国語)40.5% 小学校B問題(算数)46.2% 中学校A問題(国語)31% 中学校A問題(数学)41% 中学校B問題(国語)46% 中学校B問題(数学)27%)				
進捗状況説明	<p>児童・生徒の基礎学力の向上を目的に学習支援員等15名が予定どおり小・中学校に配置され、学習指導に取り組んだことにより、児童・生徒の学習意欲が醸成され、「自ら学び、考え、判断し、行動する」といった資質と能力を身につける助けとなった。今後も継続して、効果的な教育体制を図るべく、必要に応じた学習支援員等の配置を行ってまいります。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学習支援員等の採用については、教諭免許取得者、専門的資格要件、要経歴といった条件のうえ、人格や健康面も配慮して採用に至ることから、人的確保が困難をきたしている。	継続して雇用できる支援員の確保や、新規の支援員の採用にむけては応募時期を早め、応募方法をホームページ、町広報を活用し学習支援員等の配置体制を事業着手前に確立するものであります。

今後の取り組み方針

学習に支障のある児童生徒の把握を早急に行い、支援に必要な内容に応じて学習支援員等の採用要件を定めて、早急な人材確保に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員等の人数規模については、学校の要望により教育委員会が対象児童生徒の状況を確認し、必要に応じて配置しているが、今後は配置基準を設け、適正な人数規模とする必要があります。 ○受益者との負担関係については、委託は契約時、嘱託員は委嘱状交付時に業務の内容、雇用条件については確認をとっています。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

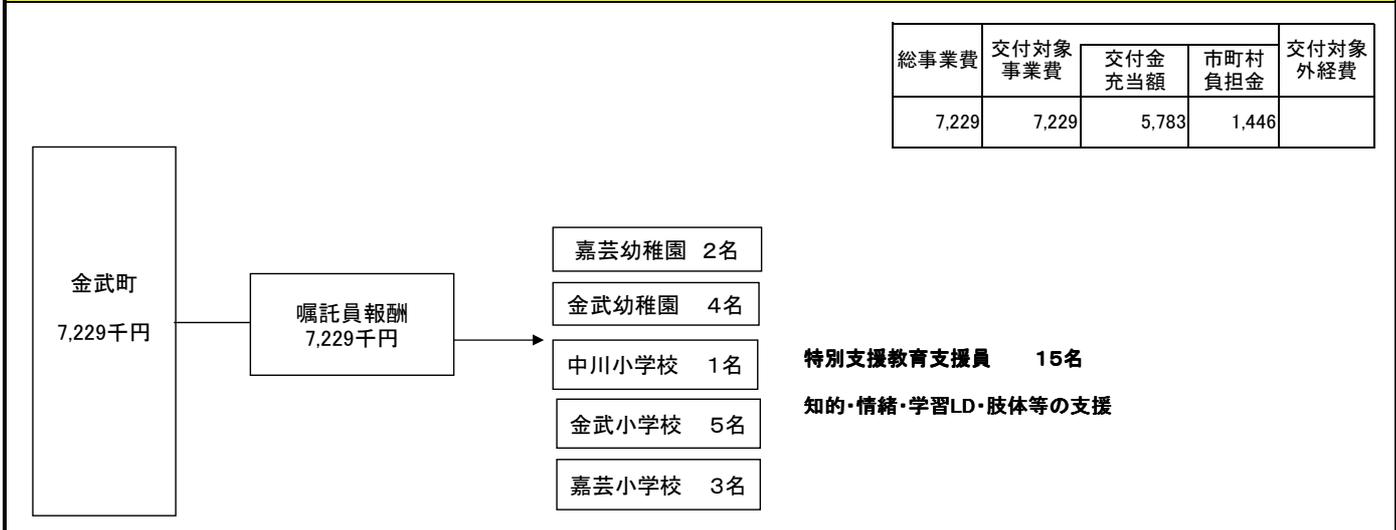
市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	特別支援教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 III-4	
事業内容	発達障害等を持つ幼児・園児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行うことができた。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,035				
		(b) 予算現額	24,377				
		(c) 増減額 (b-a)	1,342				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	24,377				
	B. 執行済額		7,229				
	うち交付金充当額		5,783				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		29.7%				
予算の状況の説明		事業着手に遅れが生じ、12月からの執行になったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	特別支援教育支援員配置数	目標	(支援員配置数 幼稚園:4人 小学校:10人 中学校:1人)	()	()	()	
		実績	(支援員配置数 幼稚園:6人 小学校:9人)				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の学習生活、学校生活等の困難の改善と克服について教育を支援し、適切な指導及び支援が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	特別支援教育支援員配置数	目標	(幼稚園5人 小学校7人 中学校2人)	(幼稚園4人 小学校10人 中学校1人)	()	()	()
		実績		(幼稚園6人 小学校9人)			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒を対象に障害の度合いに応じ、特別支援教育支援員15名を幼・小・中学校に実情に応じて配置し、学習生活、学校生活等への効果的な支援が行えており、教育の機会均等が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	特別支援教育支援員等の採用については、専門的資格要件、要経験といった条件のうえ、人格や健康面も配慮して採用に至ることから、人的確保が困難をきたしている。	継続して雇用できる支援員の確保や、新規の支援員の採用にむけては応募時期を早め、応募方法をホームページ、町広報を活用し学習支援員等の配置体制を事業着手前に確立するものであります。

今後の取り組み方針

保護者・学校・教育委員会が連携して支援が必要とされる「気になる子」について実態把握を行い、支援に必要な内容に応じて特別支援教育支援員の採用用件を定めて、早急な人材確保に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援員等の人数規模については、学校の要望により教育委員会が対象児童生徒の状況を確認し、必要に応じて配置しているが、今後は配置基準を設け、適正な人数規模とする必要があります。 ○受益者との負担関係については、嘱託員へ委嘱状交付時に業務の内容、雇用条件については確認をとっています。 ○特別支援教育支援員の活用状況については、日誌で確認しています。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

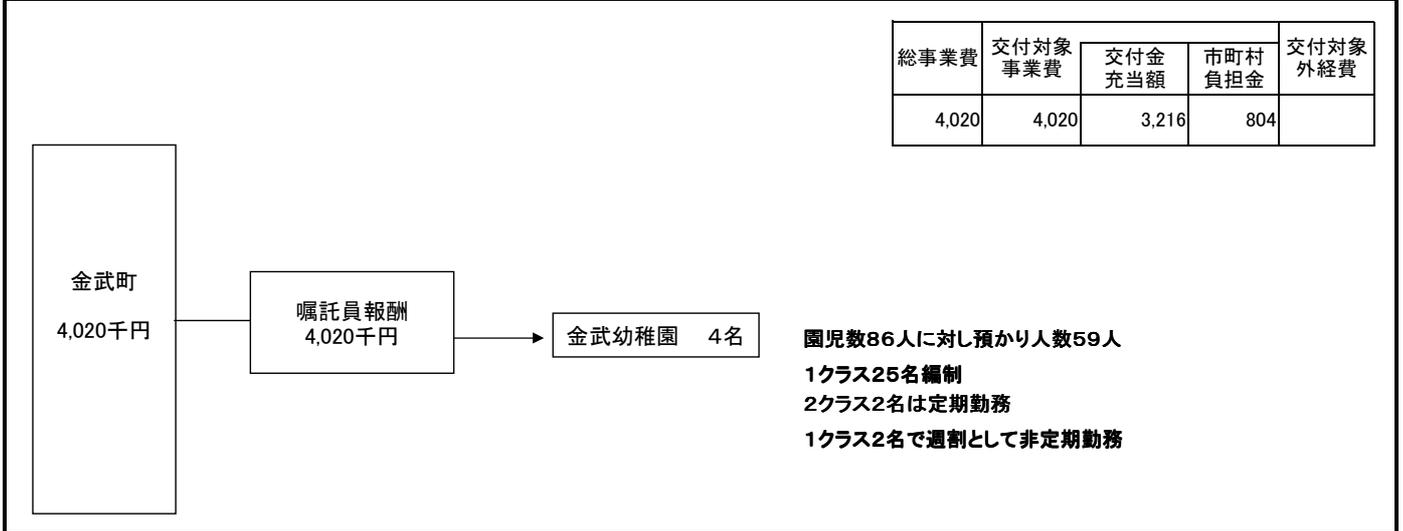
市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 III-4	
事業内容	預かり保育を実施したことにより、保護者の就労支援となり子育て環境の改善が図られた。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,202				
		(b) 予算現額	5,976				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 226				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		5,976				
	B. 執行済額		4,020				
	うち交付金充当額		3,216				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		67.3%				
予算の状況の説明		事業着手に遅れが生じ、8月からの執行になったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	預かり保育支援員の配置数	目標	(幼稚園:3人)	()	()	()	
		実績	(幼稚園:4人)				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	園児数86人、利用者59人						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	預かり保育実施率 (預かり保育人数/園児数)	目標	(67%)	(90%)	()	()	(90%)
		実績		69%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	幼稚園児の預かり保育実施は、安全・安心な保育環境の充実、両親共働き等家庭の子育て支援としており、保護者のニーズが高まっていることから、今後も保育体制の充実に努めてまいります。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	預かり保育員等の採用については、幼稚園免許取得者、専門的資格要件、要経験といった条件のうえ、人格や健康面も配慮して採用に至ることから、人的確保が困難をきたしている。	継続して雇用できる支援員の確保や、新規の支援員の採用にむけては応募時期を早め、応募方法をホームページ、町広報を活用し預かり保育員の業務内容について改善を図るとともに雇用形態の見直しを検証する。

今後の取り組み方針

預かり保育員の保育内容を十分に検証し、適正な雇用条件の確保に努め保護者の就労支援となるよう、今後の幼稚園運営の方針に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○平成24年度預かり保育員利用人数は59人であり、1クラス25名編制で保育員4名体制として適正に実施されています。 ○受益者との負担関係については、嘱託員へ委嘱状交付時に業務の内容、雇用条件については確認をとっています。 ○預かり保育員の活用状況については、日誌で確認しています。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	仮戸籍申告書の電算化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
担当部署名	住民生活課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 III-12-(2)		
事業内容	戦争で多くが消失した戸籍は仮戸籍として再製されているが、保存状態も悪く、また、不備も多く手続きに支障が出ている。そのため電算化することにより行政サービスの向上を図った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,314				
		(b) 予算現額	9,923				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,391				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	9,923				
	B. 執行済額		9,923				
	うち交付金充当額		7,938				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予定を下回る金額で契約したことで1,391千円を減額したが、予定した事業内容は全て執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	所有する仮戸籍申告書を全て電子データ化する	目標	(1496戸)	()	()	()	
		実績	1497戸				
	沖縄特殊戸籍管理システムを構築する	目標	(100%)	()	()	()	
		実績	100%				
達成状況説明	仮戸籍申告書の電算化により、住民に対し資料を継続して交付できるようになった。また、仮戸籍申告書の交付事務に係る時間が1時間から約10分に短縮できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	仮戸籍申告書の電算化率	目標	(0)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	仮戸籍申告書 1497戸(14,115枚)を電算化した。					

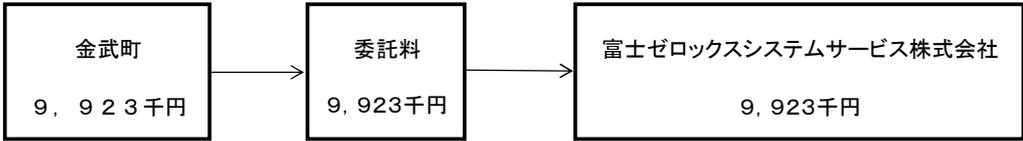
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	仮戸籍申告書の電算化は、平成25年3月7日にセットアップを完了し、稼働を始めている。 今後は、データの取扱い及びシステムの継続的な運用が課題となる。	<ul style="list-style-type: none"> 仮戸籍申告書データの取扱いについては、法を順守し、情報漏えい等の事故の防止を図る。 事務処理の効率化の為に、職員の専門知識を高める。 システムの定期的なメンテナンスを行う。

今後の取り組み方針

電算化の利点を生かし、迅速かつ正確な戸籍事務の遂行に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,923	9,923	7,938	1,985	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は随意契約であるが、既存の戸籍システムの機器を共用できることや、実績、知識等を勘案した上での選定であり妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	金武町青年海外派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-イ	
担当部署名	企画課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界と共生する社会の形成		
事業内容	本町と南米移住国との有効親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に金武町の青年2人を南米に派遣した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,968				
		(b) 予算現額	1,968				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,968				
	B. 執行済額		1,968				
	うち交付金充当額		1,573				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予定していた事業内容は全て執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	派遣研修生数	目標	(2人)				
		実績	2人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ブラジル・アルゼンチン・ポリビア・ペルー・米国(ロス)の5ヶ国に青年2人を派遣し、友好親善関係及び人材育成の推進に資することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	派遣研修生数	目標	()	(2人)	()	()	(2人)
		実績		2人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度において青年2人を南米等に派遣し、平成25年度以降も毎年2人派遣する予定である。今後も町などが主催するシマヌチュ大会やまつり等の諸事業に積極的に参加させ、町民との交流を図る。					

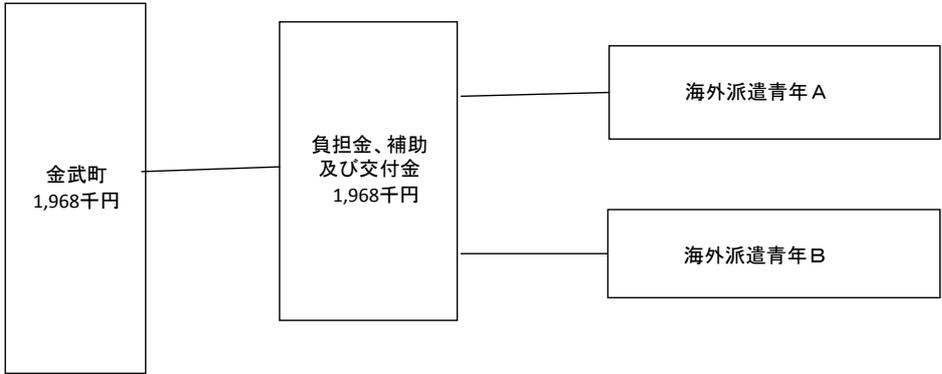
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各国町人会での研修生受け入れ先の固定化が懸念される。又、町人会から研修期間が短い等の意見がある。	海外移住者子弟等研修生受入事業で、沖縄に来た研修生の家で受け入れ可能か調整を図る。又、各国町人会と期間等について、調整を図る。

今後の取り組み方針

今後も年次的に南米等に2人派遣し、国際感覚豊かな青年を育成するとともに現在、町が行っている海外移住者子弟等研修生受入事業の研修生等との交流や町などが主催する諸事業に積極的に参加し、町と移住国との懸け橋となるよう交流を深めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,968	1,968	1,573	395	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○研修生派遣については、面接を行い決定している。 ○5ヶ国に派遣するためには適正だと判断する。 ○事業目的に即した費用を交付している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	